

各 位

会 社 名 株式会社東京機械製作所  
代表者名 代表取締役社長 都並 清史  
(コード番号：6335 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役かずさテクノセンター長 上等 吉則  
(TEL 0438-20-5551)

## 東邦チタニウムより自社開発の無人搬送車(AGV)の新規受注(7台)について

株式会社東京機械製作所(本社：東京都港区、代表：都並清史、以下「TKS」)は、注力部門である「FA (Factory Automation) 事業」において、このたび、東邦チタニウム株式会社(本社：神奈川県横浜市、代表：山尾康二)より当社グループの主力 AGV である「V1000-H」7台を受注いたしました。東邦チタニウムの若松工場(福岡県北九州市若松区響町 1-62-1)の既設工場と新設される工場(2025年度中に稼働予定)に導入されます。

「V1000-H」は、自動倉庫側との連携により、入出庫作業の効率が向上することに加え、在荷センサーを AGV 本体側に搭載し、従来の在荷検知方式を改良することにより、導入工期も短縮するような細部についても省力化を実現しております。

昨今の労働現場では、人手不足が深刻な経営問題となっており、中でも製造・物流現場においては運搬作業の省人化ニーズがますます高まっています。従来、「人」が行っていた搬送作業を AGV へ、すべて自動搬送に変えることにより、単なる自動化・効率化だけでなく、現場作業員の生産性向上にも寄与いたします。国際ロボット連盟(IFR)によりますと、倉庫やトラックからの荷物の積み降ろし作業に、自律走行搬送ロボットを導入することで、1日のシフト当たりの労働時間を最大で25%削減できると試算しています(出典:2023年11月27日・国際ロボット連盟プレスリリース「ロボットが日本の『2024問題』の解決に貢献」)。

TKSグループは、AGV・自律走行清掃ロボット・協働ロボットなどのFA事業で、2026年度までに売上高10億円を目指しています。

なお、当社の当期業績に与える影響は軽微と見込んでおります。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

### 【導入予定の V1000-H】



以 上